

## 市民モニターアンケート結果 活用状況

担当課	健康づくり課
アンケート名	食育について
アンケート実施期間	令和元年7月12日～7月22日

### アンケート活用状況

市民モニターの方々に食行動等について調査し、現状把握を行い、今後の施策等へ反映させるために実施しました。

また、令和元年度のアンケート調査では、倉敷市食育推進計画の指標全てにおいて調査しております。そしてその結果を、毎年実施されている倉敷市食育推進会議において提示し、目標値の見直しの参考にしたいと思っております。

「主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが、1日に2回以上あるのは週に何日あるか」と尋ねたところ「ほとんどない」と回答した人が、平成30年度に比べ3.2%増加していました。

「ふだん朝食を食べているか」と尋ねたところ「ほとんど食べない」と回答した人が、平成30年度に比べ0.9%増加していました。

バランスのよい食事を整えることも、朝食を摂ることも、啓発を強化しているにもかかわらず、ここ数年ほぼ横ばいで改善されていない状況です。

どちらの内容も、生活習慣病やフレイル(※)の予防に向け、幼少期から習慣化することが重要であるため、倉敷市の幼児健康診査等において啓発を強化するとともに、地域へ波及しやすいように、食を通じた健康づくりボランティアである栄養改善協議会と連携し、波及方法等について共に検討するなど対策を考えたいと思います。

※フレイル・・・高齢者が筋力や活動、認知機能が低下している状態(虚弱)、心身がストレスに弱くなっている状態のこと